

海の向こうから

寒さが厳しい日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。そして世界中でご活躍の皆様はどんな季節をお過ごしでしょうか。

今年からようやく、コロナ前と同様にOB会の活動ができるようになってきました。そして今年はたくさんの隊員が広島から世界各国へ出発しています。まずは現地隊員からの活動レポートをご紹介します。

01



任国紹介 ①

2022年度1次隊 グアテマラ派遣 数学教育 品川仁志

はじめまして。広島市出身の品川仁志です。協力隊として活動する前は、広島市の中学校で勤務していました。2022年度から教員を休職して協力隊に参加しています。趣味はサッカーと旅行で、休みの日はグアテマラのサッカーリーグのユニフォーム収集とスタジアム巡りをしています。

グアテマラは、中米のメキシコの東側に位置し、比較的温暖で日本よりも過ごしやすい気候です。主にスペイン語とマヤ語、少数民族の言語としてシンカ語とガリフナ語が話されています。マヤ語は細かく分類すると30近くあると言われています。私の任地コバンではケクチ語が話されていますが、バスで30分ほどの場所では異なるポコムチ語が話されています。彼らは多くの言語や文化があることにとても誇りをもっています。学校教育の中でも各地域の言語が必修化されています。また女性の民族衣装がとてもきれいで、山間部や市場に行けばその土地特有の色鮮やかな民族衣装を見ることができます。



★派遣先・活動

アルタベラパス県コバン市にある県の教育事務所にて活動しています。主な活動は、①教員への研修会の開催、②JICAが支援した国定教科書の普及促進です。教育制度や環境、社会的背景や文化などが日本とは大きく異なるため、日本のやり方を押し付けるのではなく、まず彼らの困りごとを聞いていくことを意識しています。そして、自分ができることを整理して、彼らの環境にあったものを提案するために四苦八苦している現状です。

★生活

コバン市は、グアテマラの第2・第3の都市と言われる場所で、そこで生活しています。大学寮のような家でホームステイをしており、多くの大学生や社会人たちが訪れるので、彼らと話すことでグアテマラのことを深く知るきっかけになっています。停電や断水も時々起こりますが、比較的安定したインフラ環境で生活しています。なかなか上達しないスペイン語ですが、周囲に親切な人が多く、安心して生活することができます。





任国紹介 ②

2022年度1次隊 チュニジア派遣 青少年活動 増田道子

はじめまして。広島市出身の増田道子と申します。協力隊になる直前までは、東京で公共交通機関に勤務しながら、支援の必要な子どもたちへ学習支援のボランティア活動をしてきました。退職後に協力隊に参加し、昨年7月よりチュニジアに派遣され、一年が経ちました！

チュニジアは、人口約1,200万人。アフリカ大陸の北に位置し、国土は約16万km²で北海道と東北を合わせたぐらいの大きさです。沿岸部は綺麗なビーチリゾートが広がり、内陸部はサハラ砂漠やジェリド塩湖などの自然が豊富です。歴史を感じることができる世界遺産やイスラム教の聖都もあり、とっても魅力的な国です。地中海を挟み、ヨーロッパが近いのでパスタなど欧州の食文化が多く取り入れられ、新鮮な野菜や果物が市場に並び、本当に美味しいです！辛いものが好きな方は、ハリッサというペースト状の赤い香辛料をぜひ一度お試しください！公用語はアラビア語チュニジア方言です。またフランスの保護領



だった歴史からフランス語も国民の間で用いられています。国教はイスラム教ですが、イスラム諸国の中でも民主化や女性の社会進出が進む国の一つです。興味がある方は調べてみてください。

★派遣先・活動



私の配属先はスファックス青少年の家で、15～25歳の青少年に様々な活動を提供する公共施設です。チュニジアの学校では体育や文化活動をする機会がないため、青少年の家がその役割を担っています。約600人の学生が施設を利用してくれています。私は英語クラブや日本語・文化クラブを開設し、運営しています。異文化に触れ、多様性や他者への理解が深まることを目指しています。その他に既存のクラブに参加し、多くの学生と交流できるように活動をしています。



★生活

私は首都から約270km東南部の沿岸にある、スファックス県スファックス市に住んでいます。チュニジア第二の都市で約100万人が住む大都市です。漁業や農業が盛んで、市場には地元の食材が並び、工業や貿易拠点になっており、とても活気のある街です。人々は他文化に理解があり、気さくに話しかけてくれる方が多いです。チュニジアは四季があります。冬は防寒着が必要で、夏は40度を超える日が続きます。暑さを回避するため、涼しい朝の時間に行動したり、水を凍らしたペットボトルを持ち歩いています。



派遣前アンケート

ってきます！

訓練所～任国派遣前の想いを形にするためにアンケートを取りました。
隊員のみなさん！たまには派遣された時の思いを思い出してみてくださいね。

アンケート内容

①名前 ②隊次／派遣国 ③職種 ④応募したきっかけ ⑤訓練所での辛かった思い出 ⑥訓練所での楽しかった思い出 ⑦2年間の活動中に挑戦したいことは？ ⑧出国を前に控えた今の心境は？ ⑨これから2年間の活動に向けての意気込みを一言



①森井 薫 ②2022年度3次隊/ブラジル ③日本語教育 ④日本にルーツを持つ方々に日本語や日本文化を継承する活動がしたかったから ⑤ポルトガル語の勉強。覚えることがあまりに多くて大変でした ⑥いろいろな分野で活躍されている同期の人たちと話げたことはとても楽しく刺激になりました ⑦できるだけ多くの人に日本のことを知ってもらい興味をもってもらうことにより、日系人の日本語離れを少なくすること！ ⑧わくわく♡ドキドキ ⑨笑顔・柔軟性・へこたれない心・向上心を持って活動に取り組みます！



①浜尾 隆誠 ②2022年度3次隊/ブラジル ③野球 ④自分のまだ見ぬ世界を体験したいと思ったから ⑤特になし ⑥自分の夢や目標に向けて実際に行動してる方々が集まっているので、同期隊員やスタッフの皆さんと話せたのがとても有意義だった ⑦ブラジルの野球隊員が各々のチームを引き連れて、大会を開催したい ⑧楽しみ、早く行きたい ⑨苦しいことや悩むことは当然あるでしょうが、2年後に笑って帰国できるようにしたい



①小坂 和誠 ②2022年度3次隊/パラグアイ ③家畜飼育 ④大学3年生の時、短期派遣でパラグアイにて酪農関係の活動を行いました。その際、日本とは異なる文化に触れたり、現地の人々と関わることは自身にとって非常に刺激的で楽しいものでした。しかし、語学が殆どできないことで、現地の人と上手くコミュニケーションが取れない悔しさも痛感しました。このような経験から、再びパラグアイの地で、今度は長期での活動を行うことで、自分自身をさらに成長させていきたいと考え、応募に至りました。⑤訓練所に入所した始めの頃は、環境の変化に若干戸惑い、ストレスがかかってしまうこともありました。訓練生の方々やスタッフの方々にも恵まれ、すぐに訓練所での生活は楽しく充実したものとなりました ⑥一番という選び難いですが、同じような価値観を持つ訓練生の方々と関わり、退所後また派遣終了後にも再度会いたいと思える関係性を作れたことが、自分にとっては非常に大きな財産になると感じています ⑦良い意味で要請内容にとらわれることなく、自分の好奇心を尊重しつつ、柔軟に活動を進めていくことができると考えています ⑧だんだんと実感が湧いてきて、活動に対して不安な気持ちもありますが、コロナで待機していたことを考えると、やはりようやく活動ができるという嬉しさが大きいです ⑨日本とパラグアイの架け橋になれるよう頑張ります！Vamos！



①加美 ひな代 ②2022年度3次隊/ベナン ③小学校教育 ④漠然と日本から飛び出してみたいと考えていた学生時代、インドで3週間小学校でのボランティアに参加しました。そこでの活動が本当に楽しかったため、日本の子供たちとだけではなく色々な国の子どもたちと一緒に勉強したり異文化に浸ることで、専門性だけでなく様々なことを学びたいと思ったからです ⑤自分は恥ずかしながら、事前学習が全くできていなかったのも、やはり語学訓練が一番辛かったです。毎日9時前から夜は2時半まで、土日も語学教室でひたすら勉強しました。夢でも先生に単語の意味を聞いていました ⑥しんどかったけれど、勉強していたフランス語の文章が読めるようになったり、先生方と話ができるようになったことは本当に嬉しかったことを覚えています。また、課業後にしていたスポーツもとても楽しく、それをきっかけにたくさんの隊員の方と仲良くなったと思います。苦手だったバレーボールでしたが、駒ヶ根でたくさん修行したので、ベナンでも現地の方々と一緒にプレーしたいです ⑦活動としては、派遣先の地域一帯で行う運動会と、平和について考える会の開催に挑戦したいと考えています。また個人的に、アフリカといえばダンス！太鼓！というイメージなので、太鼓やダンス、欲を言えば、色々なスポーツをしたり料理を食べる、作るなど、現地の方々とたくさん関わっていきたいです ⑧きちんと恐れるべきことは恐れ、対策を立てて、後はすべて楽しむぞ、という気持ちです。まずは準備をしっかり頑張ります ⑨知ることは好きになることの第一歩！ベナンを走り回って、たくさんの好きを見つけて、広島に帰ってきます！



①八木 智司 ②2022年度4次隊/バヌアツ ③PCインストラクター ④暇でやる事が無くなったからです ⑤私はオーガニックなものしか食べません。だから訓練所の食事がそうでないのが辛かったです。後、小学生のころは出来ていたハンドスプリングと後転倒立が出来なかったのが悔しいです。何処を鍛えれば良いのか思案中です ⑥体育館でマット運動が出来たことです。倒立前転が出来るようになった。 ⑦LPIC2を取りたいけどバヌアツで試験が出来るかな？ ⑧バヌアツでも玄米が買えれば良いなと思っています。白米は私には無理です ⑨バヌアツでのICTの人材の育成に力を貸せば幸いです



①只野 杏奈 ②2022年度4次隊/パラグアイ ③青少年活動 ④JICAの講演会 ⑤語学の勉強(孤独でした) ⑥キャンプファイヤーをしてみんなと語り合ったこと ⑦原爆展の開催 ⑧不安だけど楽しみです！ ⑨教育を通して現地の青少年の自立支援に寄与します！原爆や広島についても発信していきます！



①小島 繁 ②2023年度2次隊/カンボジア ③自動車整備 ④前回:若気の至り 今回:終活前の御奉仕 ⑤語学最終試験に合格すること ⑥語学最終試験以外の全て ⑦趣味を見つけること ⑧家族に感謝 ⑨健康に気をつけて任国の方々と一緒に楽しく活動します



①末川 雄志 ②2023年度2次隊/ルワンダ ③コミュニティ開発 ④コロナ禍前にカンボジアへ旅行に行った際、熱中症と脱水症状になったのですが、その時ある貧しい家庭に命を救われ、この家族に何か恩返しをしたいという思いと同時に、大学在学時に国際協力に携わりたいと思っていた気持ちが再燃したことがきっかけでした。また、その時出会った家族はとても幸せそうだったことが非常に印象に残っており、生活水準は幸福度に直結しないのではと疑問に思うようになりました。国際協力に携わるのであれば、実際に現地に行き、現地の方たちの「声」を聞きながら活動をしたいと考えようになり、協力隊であれば今までの経験を活かせる職種があるだけでなく、現地で実際に生活しながら活動ができるため応募を決めました ⑤語学訓練が自分の中では、一番タフな時間でした。訓練言語は英語でしたが、今まで留学経験や英語でコミュニケーションをとる経験がなく、英語でのアウトプットがうまくできませんでした。また、周りと自分を比較して自己嫌悪に陥る時期もありましたが、派遣前に練習できるいい機会だと思い、食らいついていきました。訓練終了時には、日本語と同じレベルではないですが、英語で話すことに抵抗は無くなり会話に慣れることができました ⑥班での活動や親睦会、流しそうめんやキャンプファイヤーなど全体でのイベントが毎週のようにあり、本当に一番を決めきれないくらい楽しく生活することができました。強いて言うなら、退所日前夜に開催された「駒ヶ根の夜は終わらNight」というダンスなどいろいろな出し物をしたイベントが訓練の締めくくりとして、とても楽しく過ごせました ⑦活動内容は主に水のアクセスや衛生啓発など、水に関する活動です。また、私自身サッカーを長年やってきたことや料理をするのが好きなこともあり、水の衛生啓発と日本とルワンダの文化交流ができるようなイベントをサッカーや料理を活かして開催できればと考えています ⑧不安が全くないわけではないですが、どんな生活や活動が自分を待っているのかとても楽しみです。現地に届けることができるもの、また、日本に持ち帰れるものを少しでも多く作れるよう派遣までの残りの時間を使って準備していきたいです ⑨現地の方々が抱えている課題や声をしっかりと聞き、独りよがりな活動にならないようしっかりとコミュニケーションを取りながら活動していきたいと思っています。また、海外協力隊員としてだけでなく、末川雄志という一人の人間としても信頼してもらえるよう日々取り組んで参ります



①野村 ミカエル 介 ②2023年度2次隊/ボツワナ共和国 ③青少年活動 ④元々好きだった地域おこしを、次は世界でやってみたかった ⑤日本語ネイティブではないため、日本語でレポートなど書くことが大変でした ⑥授業が人生で一番良かったこと。語学だけではなく、価値観や考え方などについて学べたこと ⑦協力隊活動終了後、アフリカで起業したいと思っているので、そのための課題探しやアイデア探しに頑張りたい ⑧正直言ってあまり実感がありません！！ ⑨できることに集中して、頑張ります！！



OB会活動報告

みんなでワイワイ楽しもう@広島ゲートパーク 2023年8月27日(日)

8月27日(日)夕方16時半から、広島ゲートパーク、旧市民球場跡地にて、広島県OB会の納涼会を開催しました。今年は、例年のピヤガーデンではなく、お酒を飲む人も、飲まない人もみんなが楽しめるように、気軽に、リーズナブルに参加していただきたい、という趣旨のもと、予約不要、ご都合の良い時間に来て帰っていただいて、という気楽な形式で行いました。

お好きな飲み物、食べ物、お菓子などを各自で持参、アルコールも勿論OK。差し入れ大、大歓迎。ご家族やお友達も一緒に、気軽にみんなで遊びにいらしてください。ベストドレッサー賞もあるので、民族衣装など、各自お好きな格好でぜひ。という、日時と場所だけを設定して、あとはゆるーい感じで、屋外で持ち寄りピクニックのイメージで、OB会facebookとOB会メールで告知をいたしました。

予約不要にしたので、果たして何人くらい集まるのか、正直、当日までドキドキでしたが、たくさんの方が、会場に遊びに来てくださり、総勢20人位が集まりました。ちょうどアフリカからの一時帰国中のOBや、可愛いベビーと一緒に来てくださったOBご夫婦、プール帰りの小学生のお子さんと参加してくださった仲良しファミリー、今年3月に帰国したばかりの隊員も福山から駆けつけてくださり、それぞれに持ち寄った食べ物や飲み物、差し入れを囲んで、ワイワイ楽しい納涼会となりました。また来年度、二本松で訓練予定の隊員候補生や、協力隊にご興味がある方も参加してくださり、初めましてや、お久しぶりの方も、すぐに打ち解け、和気藹々の楽しい時間を過ごしました。

日が暮れると過ごしやすくなり、入れ替わり立ち替わり、たくさんの方が訪れてくださって、宴は大いに盛り上がりました。カーブ観戦に行くから、今日は参加できないけれど、皆さんで、と、わざわざ差し入れを届けに来てくれたOBもいて嬉しかったです。ちなみにベストドレッサー賞は、可愛いベビーと、小学生の男の子。南米土産を贈呈させていただきました。

もちろん、会場は、来た時よりも美しく、お片付けもバッチリ、ゴミも仕分けしてきっちり持ち帰り、さすが元協力隊、皆さん本当にステキです。久々の再会に喜びあう姿、その場で知り合い仲良くなって連絡先を交換したり、自分の活動を紹介したりと、ざっくばらんに、気軽に声をかけあい、楽しそうにワイワイと集まっている様子が、なんともOBらしく、皆様のおかげで、笑顔溢れる楽しい納涼会が開催できました。ありがとうございました。

H14-1 タイ 青少年活動 井上和恵



帰国後 ～広がるキャリアの選択肢～

各地域でそれぞれの力を発揮し活躍する帰国隊員をご紹介します

【広島県議会より】 H21-2 ドミニカ国 音楽 上野寛治



今年4月の統一地方選挙にて、広島市安芸区より県議会議員に当選することができました。今まで何度か選挙に挑戦してきましたが、ようやくスタートラインに立つことができました！負けても負けても挑戦し続ける根性は、協力隊で培われたものかもしれません（笑）

私が赴任していたドミニカ国では、ちょうど任期中に大統領選挙がありました。選挙というかお祭りに近い感じで、各々勝手に候補者のポスターを自分の車にベタベタ貼り（日本では公職選挙法違反）集会に集まり音楽がなっていました。ドミニカ人が

屈託なく政治論議に熱くなっている姿を目にして、「日本もそうならいいのにな。」とずっと思っていました。

ちょうどスポーツ観戦のような（ラフすぎるか？）感じで候補者を応援してもらえような選挙をしたいなと思っていましたが、実際に挑戦するとなかなかシビアになってしまいます（汗）

でも今回は、たくさんのOB会の方々が手伝いにきてくださり、選挙カーの運転や電話かけなど手伝ってくれ、事務所を盛り上げてくれました！（いつもの飲み会のごとく）

そのおかげもあり、現在、県議会において仕事をさせてもらっていますが、協力隊の経験が活かしているように思います。議員としての活動と、協力隊員としての活動、共通する部分が結構あるのではないかと最近思います。現役の方々には、協力隊後のキャリアとして議員になるというのも一つの選択肢であると思っています。ただいただけたら幸いです。

※1枚目の写真：中央が上野さん



編集後記

お初にお目にかかる方もたくさんいると思います。平成23年度（2011年度）1次隊でエチオピアに理数科教師として派遣された麓美奈と申します。帰国してからかれこれ10年以上が経ちましたが、忘れられないのがエチオピアの主食インジェラ。私の知る限り、日本でインジェラが食べられるのは東京中目黒のクイーンシーバというエチオピアレストランのみ。先日東京に行く機会があり、あえて1泊延ばしてお店を訪れたところ、なんと貸切で入れませんでした。でも、想定通りにはいかないことなんて、世の中たくさんありますよね。来年リベンジしたいと思います。それではみなさま、良いお年をお迎えください。

家族連絡会・総会のお知らせ

2024年2月10日(土)に家族連絡会・総会を開催します。お久しぶりの方も、初めての方もぜひご参加ください！場所は、広島市留学生会館です。11時過ぎから準備を行い、家族連絡会は13時～15時、総会は15時過ぎ（家族連絡会が終わり次第）開始となります。

総会の議決権は、会費(2,000円/年)を支払った人が有します。

この会報が郵送で届いている広島県のOBの皆さまは、総会やイベントに積極的にご参加ください。会費を支払ってなくても総会やイベント等には参加出来ます。

広島県JICAデスクからお知らせ

広島県JICAデスクでは広島県及び国際協力に関する発信をFacebookページで行っています。国際協力に関心のある方、開発途上国と繋がりを持ちたい方、誰かのために何かをしたと考えている方など、興味がある方はフォローをお願いします。

それぞれの立場で、それぞれの関わりができるよう、一緒に考えていきましょう。

広島県JICAデスク 新庄 (080-2934-8494)



青年海外協力隊 広島県OB会 連絡先

会長：竹内英祐（H20-4 ウガンダ 土木） / 事務局長：上野寛治（H21-2 ドミニカ国 音楽） /
会報誌担当：麓美奈（H23-1 エチオピア 理数科教師）

メールアドレス：info@jocv-hiroshima.sakura.ne.jp（イベントやお問い合わせはこちらへ）

広島県出身者の任国滞在中の隊員数：14カ国で19名（2023年11月末現在）